年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（２年次用）　　家庭科　　科目 家庭基礎

教　科：　家庭科　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象年次組：第　2 年次　 1 組～　　6 組

教科担当者：　　（１組：高島）（２組：高島）（３組：高島）（４組：柏木）（５組：村上）（６組：村上）

使用教科書：（ 家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）　　）

教科　家庭科　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　生活を主体的に営むために必要な人の人生と家族家庭・福祉・衣食住・消費生活などの基礎的なことを理解している。それにかかわる技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯を見通して、家庭や地域、社会生活の中から問題を見だして、課題を設定し、解決策を作り、実践を評価・改善・思考する。

【学びに向かう力、人間性等】　課題の解決にむけて。主体的に取り組み、自分や家庭・社会の充実向上をはかる。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の人生と家族家庭・福祉・衣食住・消費生活などの基礎的なことを理解している。それにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域、社会生活の中から問題を見だして、課題を設定し、解決策を作り、実践を評価・改善・思考する。	生涯を見通して、家庭や地域、社会生活の中から問題を見だして、課題を設定し、解決策を作り、実践を評価・改善・思考する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　生涯を見通す 【知識及び技能】 ・生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を知る。 【思考力、判断力、表現力】 ・生活課題に対しての意思決定と目標を描く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己をみつめ、主体的に考える。	・生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題 ・生活課題に対しての意思決定と目標 ・一人１台端末活用	【知識・技能】 ・人の人生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ・自立した生活を営むために、情報の整理を行い、意思決定をしていくことの重要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己の生活について主体的に考え、課題を設定し、評価改善する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題の解決にむけて。主体的に取り組み、自分や家庭・社会の充実向上をはかる。	○	○	○	8
	第７章　衣生活をつくる 【知識及び技能】 ・被服表示を参考に管理や手入れができる。 ・被服の材料や性能について科学的に理解する。 ・ミシンの使い方がわかり、簡単な作品を制作できる。 【思考力、判断力、表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のもっている被服を点検し、その扱い方について理解し、実践する。 ・自分の衣生活を主体的にかかわる。	・被服表示と被服材料 ・被服製作（エプロン） ・一人１台端末活用	【知識・技能】 ・被服材料や被服の表示について理解する。 ・簡単な被服製作ができる。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣生活と健康について自分の生活を振り返り、充実向上を図る。	○		○	14
	定期考査			○	○		2
2学期	第６章　食生活をつくる 【知識及び技能】 ・食品の栄養的特徴を調理性について科学的な理解を深める。 ・自分に必要なエネルギーや栄養素を知る。 ・実習を通じて、簡単な調理ができる技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力】 ・自分の体を知り、食生活計画を通じて、計画管理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食生活の自立にむけて主体的に取り組むことができる。	・各栄養素の働き ・食事摂取基準 ・食品群別摂取量のめやす ・調理実習（２回） ・一人１台端末活用	【知識・技能】 ・食品の栄養的特徴を理解している。 ・自己や家族の食生活の計画管理に必要な知識を身につけている。 ・目的に応じた調理の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・健康や環境に配慮した食生活の課題をみつけ、解決策を構想し、実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人と協働し、食生活について課題解決に主体的にとりくみ、実践しようとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		2
3学期	第９章　経済生活を営む 【知識及び技能】 ・消費者の意思決定の重要性と情報の活用を理解する。 ・責任ある消費行動と契約の重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・現在ある消費者問題からどう行動するか考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事例を通じて、自ら主体的に取り組む姿勢を学ぶ。	・契約とは何か ・１８歳成人の責任 ・消費者被害とその対策 ・一人１台端末活用	【知識及び技能】 ・消費者の権利と責任を自覚して、行動でき、契約の重要性や消費者保護の仕組みを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人と協働し、よりよい社会構築にむけて、実践することができる。	○		○	11
	第８章　住生活をつくる 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴を知る。 ・賃貸契約の重要事項と賃貸住居の情報を読み取る。 【思考力、判断力、表現力】 ・住居の機能性や快適性について考え、住居を判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】・自分の将来を想像し、それにあわせた住居の選択ができる。	・住居の基礎知識 ・賃貸物件の基礎知識 ・賃貸情報の読み方 ・一人１台端末活用	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴を知ることができる。 ・賃貸契約の重要事項を理解し、賃貸住居の情報を読み取ることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・住居の機能性や快適性について考え、解決する力をつける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のライフスタイルにあわせた住居の選択、よりよい地域環境の構築に向けて実践できる。	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計 78